

## 景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

### 【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式  
調査時点 令和6年9月2日発送  
令和6年9月13日回答期限  
調査対象 信用保証利用先3,000企業  
有効回答数 407 企業(回答率 13.6%)

※ 当期: R06年7月～9月実績見込  
次期: R06年10月～12月期予測

### 【DI値について】

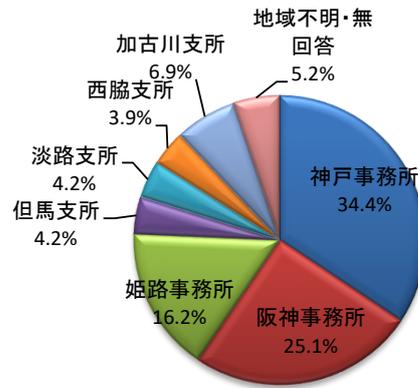
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

## I. 貴社の概要について

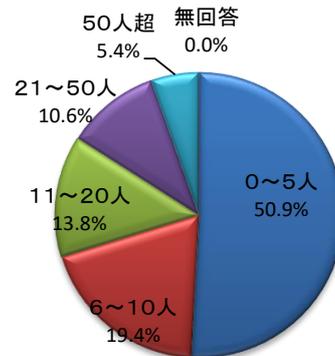
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	140	34.4%
阪神事務所	102	25.1%
姫路事務所	66	16.2%
但馬支所	17	4.2%
淡路支所	17	4.2%
西脇支所	16	3.9%
加古川支所	28	6.9%
地域不明・無回答	21	5.2%
合計	407	100.0%



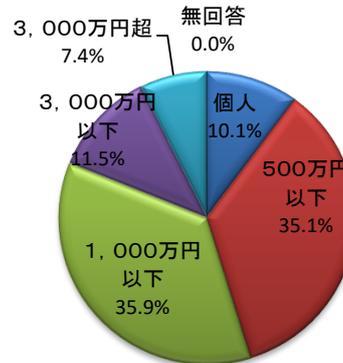
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	207	50.9%
6～10人	79	19.4%
11～20人	56	13.8%
21～50人	43	10.6%
50人超	22	5.4%
無回答	0	0.0%
合計	407	100.0%



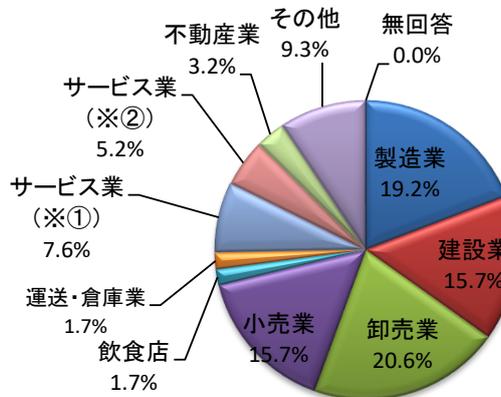
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	41	10.1%
500万円以下	143	35.1%
1,000万円以下	146	35.9%
3,000万円以下	47	11.5%
3,000万円超	30	7.4%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	78	19.2%
建設業	64	15.7%
卸売業	84	20.6%
小売業	64	15.7%
飲食店	7	1.7%
運送・倉庫業	7	1.7%
サービス業(※①)	31	7.6%
サービス業(※②)	21	5.2%
不動産業	13	3.2%
その他	38	9.3%
無回答	0	0.0%
合計	407	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

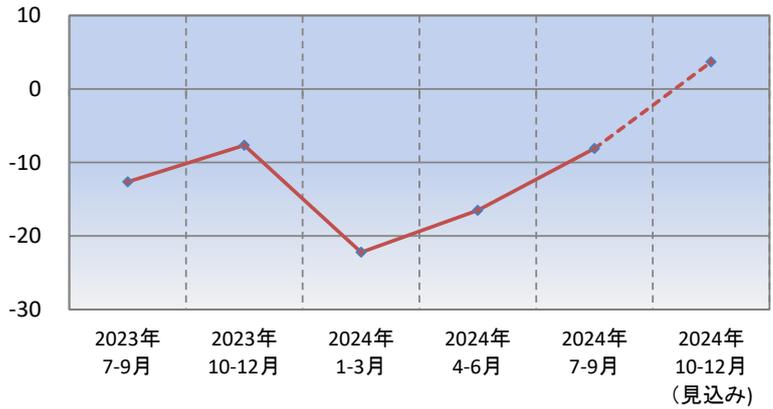
**Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。**

- (1) 当期(24年7~9月期)は、前期(24年4~6月期)に比べどのような状況ですか。
- (2) 次期(24年10~12月期)は、当期(24年7~9月期)に比べどう思いますか。

**【生産・売上】**

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	109	26.8%
変わらない	156	38.3%
減少した	142	34.9%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	120	29.5%
変わらないと思う	182	44.7%
減少すると思う	105	25.8%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%

生産・売上DI(増加-減少)										
調査時期(実績)	2022年7~9月	2022年10~12月	2023年1~3月	2023年4~6月	2023年7~9月	2023年10~12月	2024年1~3月	2024年4~6月	2024年7~9月	2024年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 12.6	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 7.7	▲ 22.2	▲ 16.5	▲ 8.1	3.7

**【採算】**

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	66	16.2%
変わらない	197	48.4%
悪化した	144	35.4%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	92	22.6%
変わらないと思う	210	51.6%
悪化すると思う	105	25.8%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%

採算DI(好転-悪化)										
調査時期(実績)	2022年7~9月	2022年10~12月	2023年1~3月	2023年4~6月	2023年7~9月	2023年10~12月	2024年1~3月	2024年4~6月	2024年7~9月	2024年10~12月(見込み)
兵庫県	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 18.5	▲ 28.1	▲ 23.8	▲ 19.2	▲ 3.2

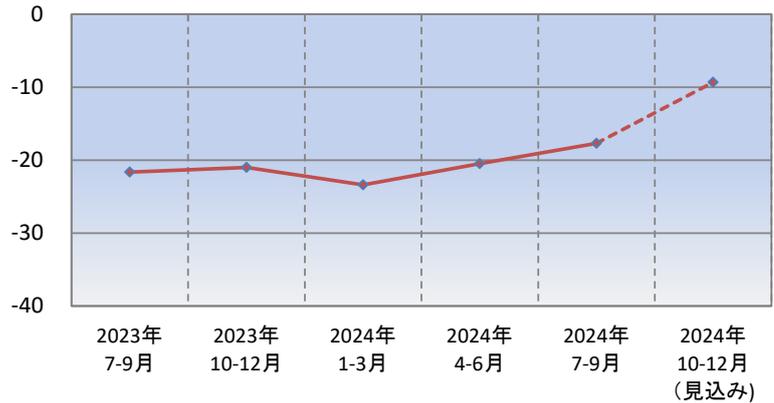
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	34	8.4%
変わらない	267	65.6%
悪化した	106	26.0%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	51	12.5%
変わらないと思う	267	65.6%
悪化すると思う	89	21.9%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (見込み)
兵庫県	▲ 23.2	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 21.0	▲ 23.4	▲ 20.5	▲ 17.7	▲ 9.3

【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	23	5.7%
変わらない	317	77.9%
難しくなった	67	16.5%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	28	6.9%
変わらないと思う	298	73.2%
難しくなると思う	81	19.9%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

調査時期 (実績)	2022年 7~9月	2022年 10~12月	2023年 1~3月	2023年 4~6月	2023年 7~9月	2023年 10~12月	2024年 1~3月	2024年 4~6月	2024年 7~9月	2024年 10~12月 (見込み)
兵庫県	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 12.3	▲ 13.0	▲ 10.8	▲ 13.0

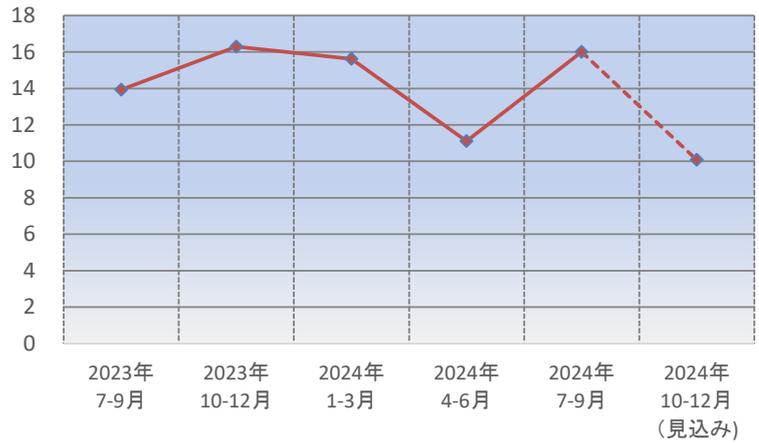
当期(7-9月)のDI値については、前期(4-6月)に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」「借入難易感」全ての項目において改善しました。

次期(10-12月)のDI値については、当期(7-9月)のDI値に比べ「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目において改善し、「借入難易感」の項目において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	71	17.4%
変わらないと思う	306	75.2%
弱まると思う	30	7.4%
無回答	0	0.0%
総計	407	100.0%



信用保証付要請DI(強まるー弱まる)										
調査時期 (見込み)	2022年 4~6月 (7~9月)	2022年 7~9月 (10~12月)	2022年 10~12月 (1~3月)	2023年 1~3月 (4~6月)	2023年 4~6月 (7~9月)	2023年 7~9月 (10~12月)	2023年 10~12月 (1~3月)	2024年 1~3月 (4~6月)	2024年 4~6月 (7~9月)	2024年 7~9月 (10~12月)
兵庫県	6.9	16.6	14.5	18.1	13.9	16.3	15.6	11.1	16.0	10.1

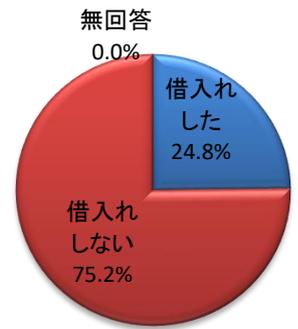
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

### Ⅲ.当期(24年7～9月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。  
※手形の割引は含めません

選択肢	24年7～9月期		24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	101	24.8%	18.2%	19.6%	25.6%	25.0%
借入れしない	306	75.2%	81.8%	80.4%	74.4%	75.0%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	407	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

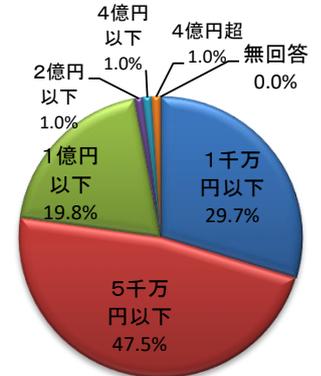
当期の借入れは、前回調査と比べ6.6ポイント増加しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	24年7～9月期		24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	30	29.7%	24.7%	28.4%	36.7%	30.3%
5千万円以下	48	47.5%	53.2%	43.3%	43.3%	44.9%
1億円以下	20	19.8%	18.2%	22.4%	14.4%	16.9%
2億円以下	1	1.0%	0.0%	1.5%	1.1%	3.4%
4億円以下	1	1.0%	3.9%	3.0%	3.3%	0.0%
4億円超	1	1.0%	0.0%	1.5%	0.0%	2.2%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	2.2%
総計	101	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

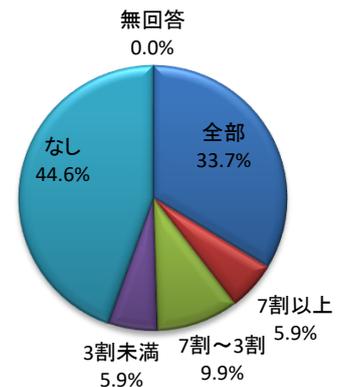
当期の借入総額は、前回調査と比べ「1千万以下」が5.0ポイント増加し、「5千万円以下」が5.7ポイント減少しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

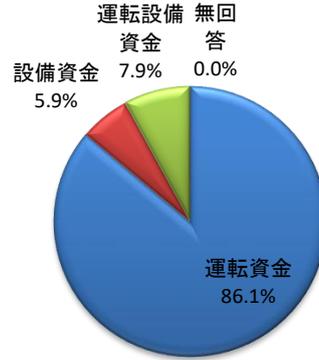
選択肢	24年7～9月期		24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	34	33.7%	37.7%	34.3%	38.9%	46.1%
7割以上	6	5.9%	6.5%	10.4%	7.8%	5.6%
7割～3割	10	9.9%	10.4%	17.9%	12.2%	5.6%
3割未満	6	5.9%	7.8%	1.5%	4.4%	6.7%
なし	45	44.6%	36.4%	35.8%	36.7%	34.8%
無回答	0	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.1%
総計	101	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が4.0ポイント減少しています。



当期借入金の目的は何ですか。

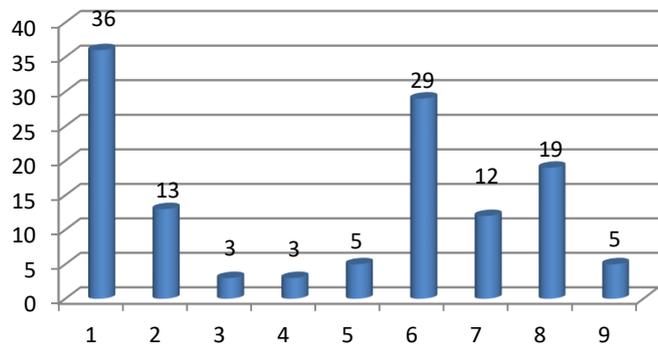
選択肢	回答数	構成比
運転資金	87	86.1%
設備資金	6	5.9%
運転設備資金	8	7.9%
無回答	0	0.0%
総計	101	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

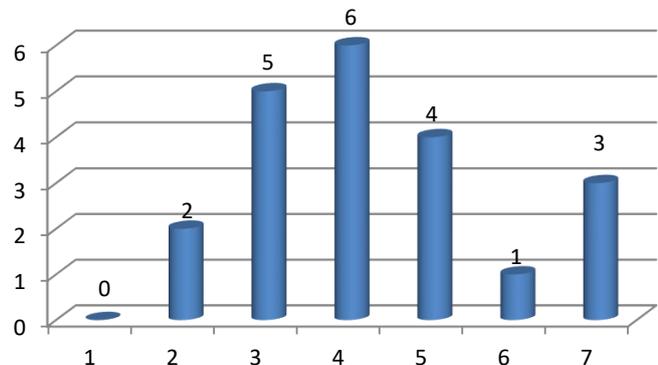
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	36
2 売上減少・赤字補填	13
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	3
5 回収条件悪化対応	5
6 売上増加運転資金	29
7 在庫積み増し	12
8 季節運転資金	19
9 その他	5
総計	125



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「季節運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

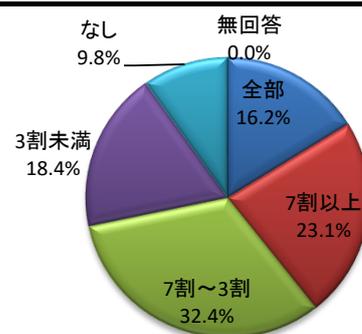
選択肢	回答数
1 新規事業	0
2 生産増強	2
3 合理化・効率化	5
4 設備老朽化に伴う入替	6
5 修理・修繕	4
6 公害防止・環境関連	1
7 その他	3
総計	21



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「合理化・効率化」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(24年9月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

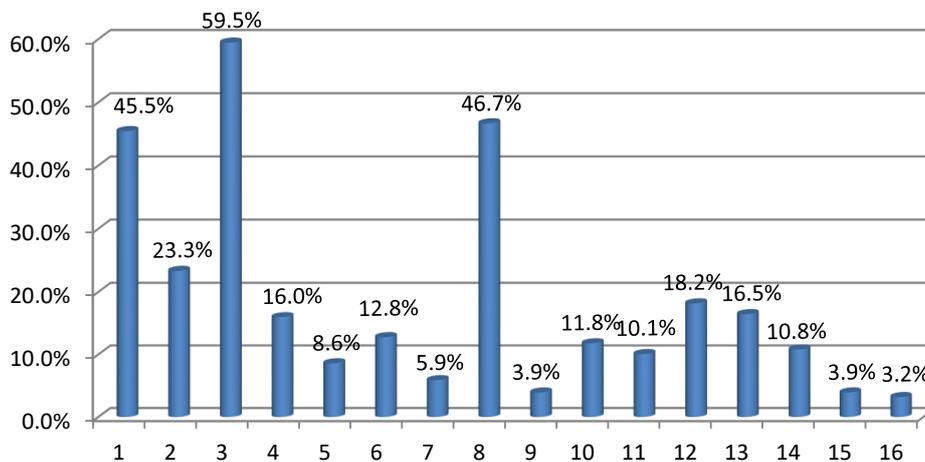
選択肢	24年7～9月期		24年4～6月期	24年1～3月期	23年10～12月期	23年7～9月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	66	16.2%	18.2%	16.7%	15.9%	17.4%
7割以上	94	23.1%	21.7%	24.6%	25.6%	23.3%
7割～3割	132	32.4%	29.5%	32.2%	31.0%	31.5%
3割未満	75	18.4%	22.9%	16.4%	18.8%	19.4%
なし	40	9.8%	7.8%	10.2%	8.8%	8.4%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	407	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「7割以上」「7割～3割」「なし」とする回答が増加し、「全部」「3割未満」とする回答が減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	185	45.5%	9 過剰在庫	16	3.9%
2 競争激化	95	23.3%	10 設備投資	48	11.8%
3 コスト高	242	59.5%	11 後継者難	41	10.1%
4 業界構造変化	65	16.0%	12 資金調達	74	18.2%
5 取引条件の悪化	35	8.6%	13 借入過多	67	16.5%
6 消費者ニーズの多様化	52	12.8%	14 為替	44	10.8%
7 技術・商品開発	24	5.9%	15 海外景気の減速	16	3.9%
8 人材・労働力の確保	190	46.7%	16 その他	13	3.2%



経営上の課題については、「コスト高」「人材・労働力の確保」「売上・受注の減少」が群を抜いて上位となっており、次いで、「競争激化」「資金調達」「借入過多」の順となっています。